

ワーキンググループで今後深めるべき検討事項

1. 大学全体で確認すべき事項の検討の方向性について…資料2

教育・学習の質向上に向けた新たな評価の在り方ワーキンググループ ここまでの議論の整理（抜粋）

＜今後、さらに検討する際に考慮すべき点＞

（中略）

- ・ 全学的な教学マネジメントをどのように担保するか

2. 新たな評価の受審フローについて…資料3

3. 学部等単位の段階別評価の考え方と評価結果の活用イメージ…資料4

教育・学習の質向上に向けた新たな評価の在り方ワーキンググループ ここまでの議論の整理（抜粋）

＜今後、さらに検討する際に考慮すべき点＞

- ・ 段階別評価を行うのであれば、何段階で評価すべきか、また、段階別に判断をどのような考え方で行うか

4. 学部等単位の評価基準・項目等について…資料5－1、5－2

教育・学習の質向上に向けた新たな評価の在り方ワーキンググループ ここまでの議論の整理（抜粋）

＜今後、さらに検討する際に考慮すべき点＞

- ・ 高等教育機関の「教育の質」を評価する、つまり「養成すべき人材像やディプロマ・ポリシー等に照らして学生が必要な学修成果を上げられているか」という点を可視化し、それに基づき、教育改善がなされているか」を評価するに際し、具体的にどのような基準・項目を設定するか
- ・ その際、各高等教育機関が社会から信頼と支援を得るためには、各機関で掲げる養成すべき人材像やディプロマ・ポリシー等に照らして、必要な知識・能力を身につけた卒業生を輩出し、社会で学修成果を十分に活用できているかという視点も必要ではないか